

議会だより

発行／東津軽郡今別町議会
編集／議会広報委員会

No.151

第367回定例会は3月9日招集され、16日までの8日間の会期で開催されました。提案された議案は、平成19年度各会計予算や条例の一部改正及び各会計補正予算など、40件（内2件議員提案）で、いずれも原案どおり「承認」「可決」したほか、陳情1件を採択しました。また、一般質問には4名が登壇しました。（会期は1日繰上げて3月15日閉会）

主な議案

●今別町副町長定数条例の制定など
地方自治法の一部改正に基づき、町助役が副町長に、収入役制度を廃止して会計管理者とし、4月1日から施行になりました。それに伴い、関係条例の名称の変更をいたしました。

●今別町農業委員会定数条例の全部改正
農業委員の定数は、選挙による定数を6人にし、議会推薦の選任による委員の定数を1人としました。

●今別町営放牧場設置及び管理条例の一部改正
放牧料1日につき155円から200円に改正されました。

●今別町公共施設の暴力団排除に関する条例の制定
この条例は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に基づくもので、使用の制限する施設は町内の公共施設全部を対象にしており、暴力団員の施設使用はできません。

●今別町手数料条例の一部を改正
この条例は福祉乗車証の交付手数料を障害のある方を除き、70歳以上の皆さんに7月1日から納付をお願いするものです。

●人権擁護委員の推薦
任期満了に伴う人権擁護委員に次の2名の方が再任となりました。
藤田 光雄（中沢）
高名 和丸（今別）

予算関係

平成19年度 会計別当初予算額		
会 計 名	予 算 額	増減率% (対前年度比)
一 般 会 計	21億8,921万円	△1.6%
国 保（事業勘定）	5億6,659万円	28.5%
国 保（診療施設勘定）	1億7,892万円	6.8%
老 人 保 健	5億5,281万円	△1.2%
介護（保険事業勘定）	3億5,448万円	3.4%
介護（介護サービス事業勘定）	9,403万円	△72.4%
簡 易 水 道 事 業	1億3,686万円	△4.8%

平成18年度 3月補正予算のあらまし		
会 計 名	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	△1,639万円	22億7,836万円
国 保（事業勘定）	2,789万円	6億2,320万円
国 保（診療施設勘定）	0万円	2億6,870万円
老 人 保 健	3,548万円	6億3,015万円
介護（保険事業勘定）	△1,354万円	3億4,433万円
介護（介護サービス事業勘定）	△678万円	4億4,060万円
簡 易 水 道 事 業	24万円	2億840万円

議員提出議案

●今別町議会委員会条例の一部を改正する条例

●今別町議会会議規則の一部を改正する規則
いずれも地方自治法の一部改正に伴う提案

陳 情

●看護師不足に関する陳情
●公共サービスの安易な民間開放に対し、国民生活の「安心・安全」の確立を求める陳情
採択
不採択

表 彰



阿部修吾議員
(議員19年以上)

このたび、阿部修吾議員が青森県町村議会議長会より町村議会議員として19年以上在職し功労のあった者として表彰されました。

いっぱんしつもん

中島 邦彦 議員

○除雪予算について

質問

今年の冬は暖冬小雪で、除排雪収入が見込めない町内業者からは悲鳴が上がっております。そこで、今年の除雪経費の残額はどのくらいか伺います。

また、除雪予算に剰余金が生じた場合は町内の工事費に廻すなど、有効な予算の執行方を要望します。

総務課長

今年度の除排雪経費は3月13日現在、337万2千円の支出状況で残額は1千662万8千円です。

19年度の財政は厳しいものと予想されているため、除雪費の余剰が生じた場合は19年度の財源に充てたいと考えております。

○公共施設の安全確認と対策は

質問

公共施設の安全確認をしたところ町立体育館は腐食が激しく、耐震構造上でも危険な建物と指摘され使用を禁止されています。財政の許す限り修繕し使用できないものか。また、今後の体育施設の利用計画について伺います。

町長

町立体育館の耐震診断の判定は、「補強工事は困難であると考ええる」との結果でした。この結論を踏まえ、財政事情も

考慮し平成19年4月から当分の間「休館」にすることにしました。

教育長

町立体育館の「休館」による住民サービスの低下を防ぐために、今別中学校を学校施設開放事業として取り組んでいきます。学校、スポーツ関係団体と協議をし、今後の町民の体力向上と体育の普及振興に努めたいと思います。

富士 和比古 議員

○新年度にあたり町長の所見を伺いたい

質問

財政について

三位一体改革によりわが町も厳しい財政事情が続いているが、19年度の財政の見通しは。

農漁業の振興策は

基幹産業である農漁業の振興策として、どのような事業を検討しているか。

新幹線問題について

新幹線については、現在どのような取り組みをしているのか。また、具体的な経済効果はどのようなものが期待されるのか。

福祉政策について

少子化問題は全国的にも大きな問題であり、すぐに答えの出る問題ではありませんが将来に目を向け真剣に取り組むべきだと思います。

また、高齢者をとりまく状況もさらに厳しくなっていることから、町長の福祉政策を伺いたい。

なかやま荘の民間移譲について

民間移譲されても町営と同じような介護サービスの提供ができるのか。

また、民間経営による弊害はないものか。さらに入居者と家族には安心できるような事前説明がされたのか。

スキー場について

営業すれば赤字、休業しても経費のかかるスキー場を今後どのように活用するか考えか。

町立体育館について

解体処理はいまごろ実行するのか。ま

た、今別中学校の解放だけで十分なスポーツ等ができるのか。今別高校を借りることはできないものか。

町長

19年度の財政は、三位一体改革等によりますます厳しく危機的な財政状況となります。厳しい財政状況ではありますが、町民サービスの向上と財政健全化に努めてまいります。

農業振興策は、ガラスハウスやパイプハウスを活用し高収益野菜の安定生産を図りつつ、品目横断的経営安定対策に基づいた稲作振興を主眼に、畑作や畜産などとの複合経営により農家所得の向上を目指したいと考えています。

漁業振興策は、大規模ヤリイカ産卵礁を継続するほか、経営基盤の強化を図るため漁協の合併を模索しつつ、漁業所得の向上が期待される施策について関係者と協議を進め漁家経営の安定に努めたいと考えています。

新幹線に対する取り組みは、職員で構成する「新幹線対策研究チーム」に「奥津軽駅」の効果的活用を検討させています。広域的には県で勉強会を開催しております。新年度には役場内に新幹線を担当する部署を新設し、専門的に取り組むことにしております。

少子化問題について町で取り組んでいる対策は、子育てしやすい環境づくりのために、保育所において一時保育と延長保育の実施をしております。また、県補助金を活用し保育料の軽減事業を実施しているほか、共働きの方のために低年齢層の子供の受け入れ保育等を実施しています。子供もお年よりも住みよい町づくりのために努力していきたいと考えています。

なかやま荘については、町職員の派遣による指導助言や、これまで勤務していた嘱託職員の採用などにより、民間移譲してもサービスは同様に提供できるものと確信しております。また、経営法人とは運営について綿密な打ち合わせをしており、弊害が生じることはないと考えています。入所者、家族にもこれまで同様に生活面、医療面において安心した生活

が確保されることを説明しております。

スキー場については、早急に対策を講ずる必要がありますが、どのような対策が最良かを検証していくことが大事であると考えています。

町立体育館解体については、財政状況が悪い中で国の補助制度もないことから防犯及び非行の防止と保全管理に努めながら、今後さまざまな可能性を検証したいと考えています。

教育長

今別高校の体育館の利用については、フエンシングの練習で今別中学校と合同で利用することもあります。他の場合についても検討してみたいと思います。

○老人介護の実態は

質問

いろいろな理由で施設に入所させることができず、家族が介護しているケースがあると聞いているがその実態を把握しているのか伺います。

老人が老人を介護するケースを最近「老老介護」と呼んでいるようだが、わが町ではそのようなケースはどのくらいのか。また、どのようなケアプランで望んでいるのか伺います。

町民福祉課長

家族介護の実態については、直接の相談、民生委員協議会や在宅支援協力員からの情報などにより把握しています。

老人世帯についても同じような情報網により把握しており、町内には29世帯あると伺っています。対象者には戸別訪問し、その方に適したサービスの提供に努めています。今後も情報収集に努め実態を把握し、適切な制度の活用やサービス、支援ができるようにしていきたいと考えています。

○浜名漁港の整備について

質問

砂が入って浅くなっているため、干潮時には船の出入りが困難になっていると苦情が出ています。ブロックを製作するときに浚渫すると聞いていたが、どのようにになっているのか伺います。

産業建設課長

ご指摘の箇所については、関係機関に他の事業の際にも整備方を要望していましたが、県でも財政状況が厳しいことから未着工となっています。

現状を詳しく調査し、引き続き早期着工を要望していく考えです。

本郷良克 議員

○品目横断的経営安定対策について

質問

品目横断的経営安定対策のナラシ対策が始まりますが、加入条件は全農家か、担い手認定農家か集落営農組織か伺います。

また、集荷円滑化対策の農家共済金の割合は10アール当たりか、キロ単位か伺います。

産業建設課長

ご質問の対象者は認定農業者及び特定農業団体等となっています。また、共済金は10アール当たりです。

○夢のある福祉のまちづくりを

質問

今別町社会福祉協議会では「夢のある町づくり」を提唱しており、町民にもさまざまな情報を提供し、相談体制の充実を図っていると思います。

そこで、生活支援、低所得世帯の自立支援等について伺います。また、高額療養費貸付事業の対象者等について説明願います。

町長

町では社会福祉協議会と連携し、低所得者世帯の経済的自立を目的に貸付制度の活用や専門家による相談事業を実施しております。

高額療養費貸付事業も社会福祉協議会に委託している事業で、国保被保険者で一部負担金が高額で支払い困難な場合に貸し付ける制度です。

町民福祉課長

入院時の高額貸付制度が変わり、平成19年4月からは69歳以下の方にも適用と

なります。

○町道の危険箇所の改善を

質問

大川平地区の道路に突き出ている電柱を移転できないか伺います。また、二股地区精米所付近のカーブは、道幅も狭く歩行者も自動車の運行も危険です。地域住民の安全を守るためにも一刻も早い対処をお願いします。

産業建設課長

大川平地区の電柱移転は、地権者の同意が必要であり移転費用等も検討しながら進めていく考えです。

二股地区のカーブについては、内側のカーブ改良を念頭に検討していきたいと考えています。現在は、角の家が解体され見通しがよくなっています。

佐藤 豪 議員

○地方交付税の新年度試算と今後の見通しは

質問

町長は新型交付税については厳しい見方をしているようだが、新年度予算で提案されている地方交付税はどのような試算によるものか、また今後の財政の見通しについて伺います。

総務課長

19年度の地方交付税は、「従来型交付税」と人口と面積を主体とした「新型交付税」を組み合わせて積算することになっており、「新型交付税」を10%組み入れて積算しております。

財政の見通しとしては、連結決算では赤字額が標準財政規模の20%を超える状況となるため、早急な対策が必要とされているところです。

○施設民営化に伴う町職員の人事配置は

質問

これまで老人介護の仕事をしてきた施設職員にとって、一般行政の職務は大変なことだろうと思います。施設職員であった方の意向、要望を尊重した適材適所の

人事配置を検討されているのか伺います。

また、人件費の全体の実態について説明願います。

町長

職員の意向を確認したところ、民間移譲された施設での勤務を希望した職員2名については役場を退職し、法人への採用となり勤務することになったものです。その他に職員については、これまでの勤務、経験等を勘案して人事配置する考えです。

総務課長

人件費を18年度と19年度で比較しますと、一般会計では6千300万円の増となりますが、6名の退職者がありますので、特別会計も含めた人件費総額は5千万円ほど減額となる見込みです。

○高齢者、低所得者の交通の確保

質問

青森市営バスの福祉乗車証は非常に喜ばれています。手数料1,000円、利用料100円といっても高齢者の負担は大変です。そこで福祉乗車証交付手数料の非課税世帯の有料化、巡回バスの医療機関利用者の有料化は福祉の後退につながるもので、見直すべきと思うが所見を求めます。

町民福祉課長

厳しい財政状況の中で、地域住民のご理解も得ながら提案させていただいておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○障害者自立支援事業の一割負担の軽減を

質問

障害者の方々が安心して事業の利用や事業に参加できるよう負担の軽減を図るべきと思うが、町ではどのような検討がされているのか伺います。

町民福祉課長

国の制度改正により施設利用料が原則一割負担となっています。所得や預貯金残高によって負担限度額が定められ、改正前より負担が多くなった方もなくなっている方もあります。町の財政事情から国の

制度以上のことはできない状況です。

○大泊漁港西側の越波対策は

質問

大波による砂などで干潮時は船の揚げ下ろしができない状況のようです。

以前に、漁港整備計画により整備するとの答弁がありましたが、その後はどのようにになっているのか伺います。

産業建設課長

これまでも小規模ながら被害防止策を講じてきたところですが、今後も国の補助金を活用した消波工整備事業等を要望し、早期改善にむけ努力したいと考えています。

○今別宮本地区の道路整備を

質問

アパート住民や業者などが行きかい、生活圏となっている八幸荘前の道路はいまだに整備されていません。地権者の問題もあると思うが、生活圏の確保として簡易な整備でも図る考えがないか伺います。

産業建設課長

地権者が町外在住のため協議が進んでいない状況であり、現地を確認し部分的な穴うめ等で対処していきたいと考えています。

○教育委員会の吸収合併の法制化について

質問

教育委員会の吸収合併については、5万人以下の市町村は全部吸収するとの報道がされました。東青管内は青森市に合併されるような話が出されています。国の教育改革は教育に対して国の関与を強める内容のようですが、こうした流れに対する教育委員会の見解を求めます。

教育長

教育委員会制度のあり方については、地方分権の視点に立って、拙速に改革をするのではなく、幅広く国民の意見を聞きながら、慎重な審議をするよう希望するものです。

駐在所からのお知らせ

○遭難しないよう、楽しい山菜採りをしましょう。

今年は、例年になく暖冬で、雪解けもすみ楽しい山菜採りシーズンがやってきます。

出かける際は、家族に行き先・帰宅予定時間などを告げて、必ず二人以上で出かけましょう。

また、非常用食料や雨具、マッチなどを持参し、山に入ったらお互いに声を掛け合い早めに下山しましょう。

※もしも遭難したときは！

迷ったと思った時は、高い所や目立つ所に白いタオルなど目印をつけ、無理に歩き回らないようにしましょう。山の灯台等の明かりが見えても絶対に歩き回らないで、救助隊が来るのを待ってください。ヘリコプターなどが捜索に来た時は、合図をして下さい。

○春の全国交通安全運動が実施されます。

期間：平成19年5月11日～5月20日までの10日間

・子供と高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶、自転車の安全利用や後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用などを重点に運動を行います。

今年は、交通事故による死亡者が前年を上回っており、特に高齢者の方々の死亡事故が目立って増加しております。

運転者の方はもちろん、歩行者の方の交通ルールをよく守り、交通事故を起こさないよう、また、遭わないよう十分注意しましょう。

連絡先 外ヶ浜警察署 22-2211 今別駐在所 35-2029

「広げよう 地域に根ざした 思いやり」

あなたの地域にも必ず担当の民生委員・児童委員がいます。

民生委員・児童委員は、すべての地域に配置され、活動を行っています。全国で約23万人の民生委員・児童委員が活動しています。

青森県では、3,536名の民生委員・児童委員が皆さんの地域で活動しています。

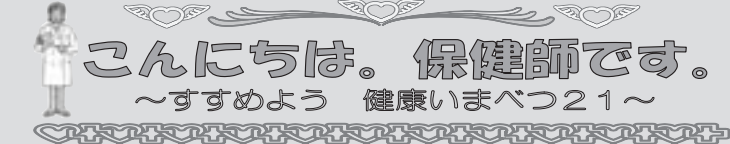


まちの行事予定

(5/1～6/10)

※行事予定名・開催場所・担当課を掲載しています。

5・10 木	第1回きくの会 《開発センター》	福祉
11 金	県立青森北高校今別校舎農園開園式 《荒馬の里体験農園》	産業
13 日	海峡いまべつ春まつり 《さざなみ公園》	企画
20 日	今別中学校体育祭 《中学校グラウンド》	教育
21 月	こころの健康相談 《開発センター》	福祉
23 水	乳児健診・股関節脱臼健診・歯科保健指導 (2ヶ月～12ヶ月未満) 《開発センター》	福祉
26 土	行政相談 《中央公民館》	総務
30 水	予防接種(三混・BCG・麻疹風疹) 《開発センター》	福祉
31 木	固定資産税第1期納期限	税務
6・1 金	人権相談 《中央公民館》	総務
2 土	今別小学校運動会 《小学校グラウンド》	教育
3 日	青森県知事選挙投票日	総務
6 水	予防接種(麻疹・風疹) 《開発センター》	福祉
10 日	今別町消防団観閲式 《河川公園》	総務



検診を受けたあとには・・・

先月の紙面でお伝えしたとおり、昨年今別町で亡くなった方の中で4人に1人はがんで亡くなっています。これは、現在のわが国の平均値でもあります。

【平成18年今別町死亡原因】

死 因	割合(%)
悪性新生物(がん)	25.9%
心疾患	24.0%
脳血管疾患	11.1%

【新たにがんにかかる順位】

	男性	女性
1	胃	大腸
2	大腸	乳
3	肺	胃

(町民福祉課届出分より)

2004. 国立がんセンター資料

健診を受けたあとに大事なものは？

それは・・・健診で精密検査が必要となったら、必ず検査を受けることです！

毎年いらっしゃいますが、精密検査になっても「毎年のことだから」「忙しくて」などの理由で受診しない方!!それではせっかくお金と時間をかけて健診を受けた意味がありません。精密検査が必要になったら早めに受診しましょう。

4月下旬から各地区の保健協力員が毎戸訪問で健診の申し込みを受け付けています。

「申し込みを忘れてしまった!!」という方も遅くはありません。役場窓口で申し込みを受け付けています。(5月末日まで)

ちゅっちゅくらぶ：

春の遠足に行ってきたよ。



4月19日、ちゅっちゅくらぶのみんなは、浅虫水族館へ遠足にでかけました。

当日は天気もよく、参加したみなさんは、ラッコやイルカショーを見ながら、楽しい1日を過ごしました。



◆行政相談所開設のお知らせ◆

と き 平成19年5月26日(土)
午前10時～午後3時

ところ 中央公民館

行政相談委員 成 田 りせ子
☎35-3860

当日、用事等で来所できない場合は、自宅でも受付してしますのでお気軽にご連絡下さい。

◆人権相談所開設のお知らせ◆

と き 平成19年6月1日(金)
午前10時～午後3時

ところ 中央公民館

高 名 和 丸 (☎35-2332)
藤 田 光 雄 (☎35-2224)
吉 田 せ つ (☎36-2341)
上 野 一 子 (☎35-3755)

相談は無料で秘密は守ります。

お誕生おめでとうございます

吹田 珀晁(真和) 西 田

お悔やみ申し上げます。

小 鹿 寿 郎(89) 西 田
川 浪 絹 子(66) 西 田
相 内 シ ゲ(74) 二 股
嶋 中 セ ツ(81) 大川平

今別の姿 (平成19年3月31日現在)

面 積 125.28km²
人 口 3,878人(-7)
男 1,830人(-3)
女 2,048人(-4)
世帯数 1,647 (-2)
()内は前月比

掲載を希望されていない方は、届出の時に町民福祉課町民担当へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。

編集後記 わらわら

町民の皆さん、いかがお過ごしですか？
今年も広報を担当することになりました『平寛』です。
今年度も、町民の方々に喜ばれるような広報紙を創って行きたいと思っています。
また、今回から広報紙の紙面が変わりましたが、掲載内容については、今まで以上に工夫をし、楽しく見やすいをモットーに頑張りますので宜しくお願いします。
来月は、全面広報紙を掲載しますので、お楽しみに！
『それでは・・・』『おはよう』『平寛』

戸籍の窓口

3月1日から31日の届出分

